

## JJAP Part 1 特集号への投稿のお誘い

2007 年国際固体素子・材料コンファレンス(SSDM 2007)において発表される論文は、引き続き Japanese Journal of Applied Physics (JJAP) Part 1 の SSDM 2008 特集号 (2008 年 4B 号) に投稿することができます。研究成果を Full Paper としてより広く周知させるためにも、貴論文の特集号への投稿をお勧めします。なお、採択された論文でも、会議で発表されなかった論文は取り消しと見なされ特集号の対象にはなりません。

御投稿に際しましては、下記投稿に関する注意をお読みになり、JJAP 投稿規定に沿って投稿下さるようお願いいたします。(招待論文の方については、オリジナルな部分に関しての投稿となります。)

**JJAP Part 1 特集号への投稿締切は 10 月 1 日 (月) です。**

JJAP Part 1 特集号に御投稿される場合のスケジュールは下記のようになります。

9 月 19 日 - 21 日 ● 2007 年国際固体素子・材料コンファレンス (SSDM 2007)

**10 月 1 日 ● 特集号への投稿締切 (JJAP 編集部)**

2008 年

4 月 30 日 ● 特集号 (4 B 号) 発行

## SSDM 2007 発表論文の JJAP Part 1 特集号への投稿に関するご注意とお願い

- ① JJAP Part 1 特集号に投稿する論文は、SSDM 2007 Extended Abstract と全く同一のものではないようにして下さい。内容は、データや記述の追加、より詳細な議論の展開などが含まれた、オリジナルなものを求めます。なお、採択された論文でも、会議で発表されなかった論文は取り消しと見なされ、特集号の対象にはなりません。
- ② 特集号に投稿された論文は、JJAP の通常の閲読手続を経て採否が決定されます。投稿された論文がすべて掲載許可となるわけではありません。
- ③ 特集号へ投稿された論文が、閲読者との討論やそれに基づく修正などにより、閲読後の最終原稿の締切を過ぎた場合は、本年の特別な措置として次号以降掲載の通常論文としての扱いを受けることとなります。2008 年以降は打ち切りとなる可能性がありますので、ご注意ください。
- ④ 招待論文の場合は、その内容のオリジナルな部分について投稿を歓迎します。その場合にも、上記①-③項が適用されます。
- ⑤ 掲載料 (別刷り代) や投稿手続は、JJAP Part 1 の投稿規定に従っていただきます。
- ⑥ 投稿にあたっては下記 URL を必ずご一読ください。

[http://www.ipap.jp/jjap/authors/Appl\\_form/jjapform\\_special\\_j.pdf](http://www.ipap.jp/jjap/authors/Appl_form/jjapform_special_j.pdf)

Application Form および Agreement for Copyright Transfer and Payment of Publication Charge に

必要事項を記入、署名 (2 箇所) のうえ、

・論文原稿 1 部

・PDF フォーマットの電子ファイル

(テキスト、図、表等を必ず 1 つのファイルにまとめてください)

とともに下記へ郵送して下さい。

なお、封筒の表には「SSDM 特集号投稿原稿」とお書き添えください。

**JJAP Part 1 特集号への投稿締め切り 2007 年 10 月 1 日**

原稿送付先

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-22 湯島ビル

物理系学術誌刊行協会 (SSDM 2007 特集号)

TEL:03-5844-3291, FAX:03-5844-3290

SSDM 2007 論文委員長

財満 鍾明